

【テーマ1】 活力と魅力ある都市空間の創造

めざす方向	<p>◎大都市としてこれまで蓄積された都市資源のポテンシャルを最大限活用し、大阪の都市構造の大胆な転換などにより、活力と魅力ある都市空間の創造をめざします。 (中長期の目標・指標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後の大阪の住まいと都市の将来像を示し、多様な人々が住まい、訪れる居住魅力あふれる都市の創造を進める。 ・将来の大阪都心部の都市空間の姿を示した「グランドデザイン・大阪」のもと、府・大阪市一体で、住み、働き、楽しみたくなる魅力を備えた都市空間の創造を進める。 ・地域の既存資産や立地特性を活かした都市づくり、美しく魅力ある都市景観の形成を進める。
--------------	---

多様な人々が住まい、訪れる居住魅力あふれる都市の創造

＜今年度何をするか（取組の内容、手法・スケジュール等）＞	＜何をどのような状態にするか（目標）＞	＜進捗状況（H29.3月末時点）＞
<p>■「住まうビジョン・大阪」の策定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後の住宅まちづくり政策がめざすべき目標、政策の枠組みや施策の展開の方向性等を示す「住まうビジョン・大阪」を策定する。 <p>(スケジュール)</p> <p>28年5月：住宅まちづくり審議会答申 6月～：「住まうビジョン・大阪（案）」パブコメ 夏頃：「住まうビジョン・大阪」策定</p>	<p>◇活動指標（アウトプット）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「住まうビジョン・大阪」の策定 <p>◇成果指標（アウトカム） (定性的な目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な人々が住まい、訪れる居住魅力あふれる都市の創造に向けた新たな住宅まちづくり政策の方向性を示す。 	<p>■「住まうビジョン・大阪」の策定</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 外部の有識者等で構成する「大阪府住宅まちづくり審議会」からの答申を踏まえ、「住まうビジョン・大阪」を策定 28年5月 審議会から「大阪府における今後の住宅まちづくり政策のあり方」答申 8月 パブリックコメント 12月 「住まうビジョン・大阪」策定

グランドデザインの推進

＜今年度何をするか（取組の内容、手法・スケジュール）＞	＜何をどのような状態にするか（目標）＞	＜進捗状況（H29.3月末時点）＞
<p>■グランドデザインの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来の大阪都心部の都市空間の姿を示した「グランドデザイン・大阪」のもと、住み、働き、楽しみたくなる魅力を備えた都市空間の創造に府・大阪市一体で着実に取り組む。 ・府県の枠を越えた広範囲な視点に立ち、府内市町村のストックやポテンシャルを最大限に活かし、国際競争に打ち勝つ定住魅力にあふれる都市空間の方向性を示す「グランドデザイン・大阪都市圏」の策定に向け取り組む。 <p>(スケジュール)</p> <p>28年度中：大阪城東部地区のまちづくりの方向性（府市の考え方）を公表 うめきた2期2次公募開始</p>	<p>◇活動指標（アウトプット）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・うめきた2期における民間事業者2次公募の実施 ・府と市で十分協議を行った大阪城東部地区まちづくりの方向性（府市の考え方）の公表 <p>◇成果指標（アウトカム） (定性的な目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・うめきた2期において『「みどり」と「イノベーション」の融合拠点』の実現に向けた取組を進める。 ・大阪城東部地区まちづくりの方向性（府市の考え方）をもとに土地の有効利用を促進する。 	<p>■グランドデザインの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ うめきた2期の2次公募の実施に向けた公募内容の検討や事業本格化までの暫定利用、「全面みどり化」に向けた寄附の受付を開始 28年10月 暫定利用、「全面みどり化」に向けた寄附募集の開始（2200万円の寄附を受付（3月時点）） 29年1月 大阪駅周辺地域部会の開催 提案を求める内容、中核機能推進協議会の設立を決定 2月 29年度暫定利用事業者決定 ○ 「大阪城東部地区のまちづくりの方向性」（素案）を公表し、地区内の市有地の有効活用について市場調査を実施 28年7月 「大阪城東部地区のまちづくりの方向

- 性) (素案) 公表、市場調査実施
- 29年3月 市場調査結果公表
- 民間主導により、人・モノ・情報・投資を呼び込み、圧倒的な魅力を備えた都市空間の創造をめざす「グランドデザイン・大阪都市圏」を策定
- 28年9月 市町村、経済界、学識経験者との意見交換 (11月まで)
- 11月 パブリックコメント
- 12月 「グランドデザイン・大阪都市圏」策定
- 29年1月 具体化に向け、府内市町村や隣接府県、市町村、民間、学識経験者と意見交換、勉強会開催
- 国の地方創生加速化交付金を活用し、淀川舟運や竹内街道を活かした魅力的な都市空間の創造に向けた取組を実施
- 28年11月 「淀川舟運整備推進協議会」参画
- 29年1月 「北大阪まちづくりフォーラム」開催
- 29年2,3月 舟運の試験運航を実施
街道周遊バスの試験運行実施
「街道ネットワークフォーラム」開催

地域創造の推進

<今年度何をするか (取組の内容、手法・スケジュール) >	<何をどのような状態にするか (目標) >	<進捗状況 (H29.3月末時点) >
<p>■ 千里・泉北ニュータウンの再生に向けた取組の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「千里ニュータウン再生指針(*1)」の進捗状況等を踏まえ、強化すべき取組事項を検討する。 ・「泉ヶ丘駅前地域活性化アクションプラン(*2)」に基づき、公民関係者が協働して取組を進める。 ・「泉北ニュータウン公的賃貸住宅再生計画(*3)」について、現在の社会情勢や地域のまちづくりニーズ等を踏まえ改定する。 <p>■ 彩都における新たな都市魅力の創出に向けた取組の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・彩都東部地区全体の事業化を目指し、新たな都市魅力創出の具体化に向けた取組を進める。 <p>■ りんくうタウンの立地特性を活かした国内外からの集客</p>	<p>◇活動指標 (アウトプット)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「泉北ニュータウン公的賃貸住宅再生計画」の改定 ・彩都東部地区全体の「新たなまちづくり・土地利用計画(案)」の取りまとめ ・りんくうタウンにおける「高度がん医療拠点施設」の整備に向けた支援 ・りんくうタウンまちびらき 20周年記念イベントの実施 <p>◇成果指標 (アウトカム)</p> <p>(定性的な目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・千里ニュータウン再生に向けた取組を着実に進める。 ・アクションプランに基づく取組を具体化し、泉ヶ丘駅前地域 	<p>■ 千里・泉北ニュータウンの再生に向けた取組の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 千里ニュータウン再生指針について、府や地元市等の関係者と進捗状況や強化すべき点を確認し、新たな指針を策定することを決定 29年2月 「千里ニュータウン再生連絡協議会」を開催し、新たな指針策定を決定 ○ 泉北ニュータウンについて、公民関係者とともに、アクションプランの具体化を検討するとともに、新たな公的賃貸住宅再生計画を策定 28年4,8月 ラウンドテーブル開催 6~3月 「泉北ニュータウン再生府市等連携協議会」開催 (計4回) H28年5月 公的賃貸住宅等再生WG開催

<p>拠点づくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 国際医療交流の拠点づくりや公園予定地の活用等を通じて、公と民が連携してりんくうタウンの活性化を図る。 <p>(スケジュール)</p> <p>28年10月：りんくうタウン「高度がん医療拠点施設」オープン 11月：まちびらき20周年記念イベントの実施 12月：「泉北ニュータウン公的賃貸住宅再生計画」の改定</p> <p>28年度末：彩都東部地区「新たなまちづくり・土地利用計画（案）」取りまとめ</p>	<p>の活性化を進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> 公的賃貸住宅の既存ストックや活用用地への機能導入等による泉北ニュータウンの活性化。 彩都東部地区全体のめざすべき土地利用を明らかにする。 高度がん医療拠点施設で高度ながん治療が必要な患者の受入開始。 公民連携の取組により、りんくうタウンの活性化を進める。 	<p>～H29年1月（計7回）</p> <p>29年3月 新たな公的賃貸住宅再生計画策定</p> <p>■彩都における新たな都市魅力の創出に向けた取組の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 彩都東部地区の地権者協議会において、事業化検討アドバイザーを選定し、意見交換を経て「新たなまちづくり・土地利用計画案」を取りまとめ 28年10月 事業化検討アドバイザー選定 29年3月 「新たなまちづくり・土地利用計画案」取りまとめ 府戦略本部会議において、企業ニーズに応じた産業用地の創出や、(都)茨木箕面丘陵線の整備、彩都モノレールは彩都西駅までとすることなど、今後の取組み方針を決定 29年1月 戦略本部会議で取組方針決定 <p>■りんくうタウンの立地特性を活かした国内外からの集客拠点づくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 国際医療交流の拠点づくりや20周年記念イベント等を通じ、公民連携によるりんくうタウン活性化を促進 28年10月 高度がん医療拠点施設「メディカルりんくうポート」オープン 11月 りんくうタウンまちびらき20周年記念イベント「りんくう誕生祭」開催 29年2月 地元市とまちづくりに資するりんくうタウン駅ビルの売買契約を締結
---	---	---

景観資源による都市魅力の向上

<今年度何をするか（取組の内容、手法・スケジュール）>	<何をどのような状態にするか（目標）>	<進捗状況（H29.3月末時点）>
<p>■市町村と連携した新たな景観形成の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 市町村と連携し、視点場（ビュースポット）の観点から景観形成の取組を実施し、地域の特性を活かした美しく魅力ある景観形成を進める。 <p>(スケジュール)</p> <p>28年度中：ビュースポット等の景観資源の情報発信等</p>	<p>▷</p> <p>◇活動指標（アウトプット）</p> <ul style="list-style-type: none"> ビュースポット等の景観資源の情報発信等の実施 <p>◇成果指標（アウトカム）</p> <p>（定性的な目標）</p> <ul style="list-style-type: none"> 情報発信を通じて、景観資源に対する意識を高める。 	<p>■市町村と連携した新たな景観形成の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 市町村と連携し、視点場（ビュースポット）の観点から景観形成の取組を実施 ▶ 28年4～8月 外国人を対象にしたビュースポットツアー開催 4,10月 市町村との協同でビュースポットを巡るイベント実施

【部局長コメント（テーマ1総評）】

自己評価
達成

<取組状況の点検>

- **多様な人々が住まい、訪れる居住魅力あふれる都市の創造**
当初の目標を達成することができました。

 - 新たな住宅まちづくり政策の方向性を示した「住まうビジョン・大阪」を策定しました。
- **グランドデザインの推進**
当初の目標を達成することができました。

 - うめきた2期の来年度の2次公募に向けた公募内容の検討、「大阪城東部地区のまちづくりの方向性」（素案）の公表や市有地の有効活用に係る市場調査など「グランドデザイン・大阪」における象徴的エリアの取組を府・市一体で着実に推進しました。
 - 民間主導により、人・モノ・情報・投資を呼び込み、圧倒的な魅力を備えた都市空間の創造をめざす「グランドデザイン・大阪都市圏」を策定するとともに、広域インフラである淀川や街道を活かした広域連携型の都市空間の創造に取り組みました。
- **地域創造の推進**
当初の目標を達成することができました。

 - 千里ニュータウンについて、再生指針の進捗状況や今後強化すべき取組の検討を進め、千里ニュータウン再生連絡協議会において、来年度新たな指針を策定することを決定しました。
 - 泉北ニュータウンについては、アクションプランに基づく取組の具体化を進めるとともに、新たな公的賃貸住宅再生計画を策定し、既存ストックや活用用地への機能導入等による泉北ニュータウンの活性化方策を示しました。
 - 彩都東部地区については、事業化検討アドバイザーの意見を交えた地権者協議会の意向も踏まえ、「新たなまちづくり・土地利用計画案」を取りまとめました。
 - りんくうタウンについては、国際医療交流の拠点づくりや、まちびらき20周年記念イベント「りんくう誕生祭」を公と民が連携して実施したことでまちの一体感を高め、まちの活性化に取り組みました。
- **景観資源による都市魅力の向上**
当初の目標を達成することができました。

 - 市町村と連携した景観資源の情報発信等に取り組み、景観資源に対する意識を高めました。

<今後の取組みの方向性>

- **多様な人々が住まい、訪れる居住魅力あふれる都市の創造**
「住まうビジョン・大阪」に基づき、多様な人々が住まい、訪れる居住魅力あふれる都市の創造に向け、「活力・魅力の創出」と「安全・安心の確保」の好循環を生み出す政策を展開していきます。
- **グランドデザインの推進**
「グランドデザイン・大阪」に基づき、府・大阪市一体で、住み、働き、楽しみたくなる魅力を備えた都市空間の創造を推進するため、うめきた2期の2次募集の実施や大阪城東部地区の民間主導によるまちづくりの具体化などに取り組みます。
また、「グランドデザイン・大阪都市圏」に基づき、活力と魅力ある都市空間の創造に向け、広域インフラを活かしたまちづくりや「広域連携型都市構造」の構築に取り組みます。
- **地域創造の推進**
地域の既存資産の立地特性を活かすため、千里ニュータウンの新たな再生指針策定や泉北ニュータウンの「泉ヶ丘駅前地域活性化アクションプラン」等に基づく具体的な取組、彩都東部地区の都市計画変更に向けた検討、りんくうタウンの公園予定地等の活用を行います。
- **景観資源による都市魅力の向上**
引き続き、「グランドデザイン・大阪都市圏」に基づき「みどりや水辺など、圧倒的な都市魅力と品格ある都市景観の実現」を目標とした景観形成を推進する取組を進めていきます。